

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.1
Q1 室内環境			0.30					2.5
1 音環境		2.6	0.15					2.6
1.1 騒音		3.0	0.40					
1 室内騒音レベル		3.0	1.00					
1.2 遮音		2.2	0.40					
1 開口部遮音性能		1.0	0.60					
2 界壁遮音性能	Dr=40。	4.0	0.40					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音		3.0	0.20					
2 温熱環境		2.4	0.35					2.4
2.1 室温制御		3.0	0.50					
1 室温		3.0	0.38					
2 外皮性能		3.0	0.25					
3 外皮性能		3.0	0.25					
4 ゾーン別制御性		3.0	0.38					
2.2 湿度制御		3.0	0.20					
2.3 空調方式		1.0	0.30					
3 光・視環境		2.5	0.25					2.5
3.1 昼光利用		1.8	0.30					
1 昼光率		1.0	0.60					
2 方位別開口		3.0	0.40					
3 昼光利用設備		1.0	0.30					
3.2 グレア対策		1.0	1.00					
1 昼光制御		1.0	1.00					
2 昼光制御		3.0	0.15					
3.3 照度		5.0	0.25					
3.4 照明制御	点滅区分が細かく分かれており、リモコンによって調整が可能。	5.0	0.25					
4 空気質環境		2.8	0.25					2.8
4.1 発生源対策		3.0	0.50					
1 化学汚染物質		3.0	1.00					
4.2 換気		2.3	0.30					
1 換気量		3.0	0.33					
2 自然換気性能		1.0	0.33					
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33					
4.3 運用管理		3.0	0.20					
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50					
2 喫煙の制御		3.0	0.50					
Q2 サービス性能			0.30					3.7
1 機能性		2.9	0.40					2.9
1.1 機能性・使いやすさ		2.3	0.40					
1 広さ・収納性		1.0	0.33					
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33					
3 バリアフリー計画		3.0	0.33					
1.2 心理性・快適性		3.6	0.30					
1 広さ感・景観	天井高: 2.95m。	5.0	0.33					
2 リフレッシュスペース	喫煙コーナー、リフレッシュスペース、自動販売機設置。	5.0	0.33					
3 内装計画		1.0	0.33					
1.3 維持管理		3.0	0.30					
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50					
2 耐用性・信頼性		4.0	0.31					4.0
2.1 耐震・免震		5.0	0.48					
1 耐震性	建築基準法の1.5倍の耐震性を確保。	5.0	0.80					
2 免震・制振性能	免震構造を採用。	5.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.23					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	タイル・ベット、壁紙、化粧PB等、更新必要間隔20年以上。	5.0	0.09					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管VLP(B)、排水管VP(B)、EIは不使用。	5.0	0.15					
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.23					

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		3.6	0.19		-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
	3	電気設備	電源設備の地上設置や非常用発電機の採用等。	5.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備	通信装置の地上設置や通信手段の多様化。	4.0	0.20		-	
3 対応性・更新性				4.4	0.29		-	4.4
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり	階高は3.9m以上。	5.0	0.31		-	
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率は0.057。	5.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			床積載荷重は15000N/㎡であり、梁等も割増をしている。	5.0	0.31		-	
3.3 設備の更新性	1	空調配管の更新性		3.4	0.38		-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.17		-	
	3	電気配線の更新性	仕上材・構造材共に痛めずに更新・修繕が可能。	5.0	0.11		-	
	4	通信配線の更新性	仕上材・構造材共に痛めずに更新・修繕が可能。	5.0	0.11		-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
	6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.40		-	3.2
1 生物環境の保全と創出				3.0	0.30		-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			形状や色彩に配慮し、既存樹木を保存している。	4.0	0.40		-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30		-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-		-	3.9
LR1 エネルギー				-	0.40		-	4.2
1 建物の熱負荷抑制			BPI=0.769	5.0	0.01		-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.28		-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50		-	
2.2	自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化			BEI=0.46	5.0	0.42		-	5.0
	集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)		ERR換算値=59.4%	5.0			-	
	集合住宅の評価						-	
4 効率的運用				4.5	0.28		-	4.5
4.1	モニタリング		用途別エネルギー消費量の把握が可能。	4.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		管理体制が組織化され、エネルギー消費量の目標値がある。	5.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30		-	3.9
1 水資源保護				4.2	0.15		-	4.2
1.1	節水		給水器具の過半に節水機能のあるものを採用。	4.0	0.40		-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用			4.3	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		全給水量の20%以上に井水を利用。	5.0	0.67		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.33		-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.9	0.63		-	3.9
2.1	材料使用量の削減			3.0	0.07		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.25		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.21		-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		床:長尺塩ビシート、天井:岩綿吸音板、トイレブース	5.0	0.21		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材			-	-		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		ユニット部材としてOAフロアを採用。	5.0	0.25		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.6	0.22		-	3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32		-	
3.2	フロン・ハロンの回避			4.0	0.68		-	
1	消火剤			-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)		ODP=0、GWP<50の断熱材を使用。	5.0	0.50		-	
3	冷媒			3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境				-	0.30		-	3.4
1 地球温暖化への配慮			高効率な照明器具の採用等によりCO2を削減。	3.7	0.33		-	3.7
2 地域環境への配慮				3.5	0.33		-	3.5
2.1	大気汚染防止		燃焼機器の設置なし。	5.0	0.25		-	
2.2	温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減			3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制		適切な駐車台数や車両出入口を計画。	5.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33		-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止	1	騒音		3.0	0.40		-	
	2	振動		3.0	1.00		-	
	3	悪臭		-	-		-	
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制	1	風害の抑制		3.0	0.40		-	
	2	砂塵の抑制		3.0	0.70		-	
	3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	効率のよい屋外照明を採用。	3.7	0.20		-	
	2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		4.0	0.70		-	
				3.0	0.30		-	